

中学生の「税についての作文」

日高納税貯蓄組合連合会、御坊納税協会、御坊税務署は、御坊税務署管内の中学校から「税についての作文」の募集を行い、1,985編の応募がありました。審査の結果、御坊市内から阪本淑恵さんが、「和歌山県納税貯蓄組合連合会会長賞」「公益社団法人御坊納税協会 最優秀賞」に選ばれました。

和歌山県納税貯蓄組合連合会 会長賞
公益社団法人御坊納税協会 最優秀賞

日高高等学校附属中学校 3年

阪本 淑恵さん



作文紹介 題名 『税の本質』

もしも自分よりもっと年下の子供に「税って何?」と聞かれたら、私は授業で習ったそのままの内容で「憲法で定められている、私たちが国の様々な事業のために納めなければならぬお金というふうに答えると思います。しかしそれは正しいことを言っているように見えて、「税の本質」は何一つ伝わっていないのではないかと、思うようになりました。

少し前に、消費税が5%から8%に引き上げられました。その時私は、正直100円ショップが

108円になることや10円ガムが11円になることを快く思っていないでせんでした。つまり税を「痛い出費」と考えていたのです。特に税に関心もなく、くわしい税金のしくみなどはあまり理解していない状態でした。

そんな状態が少し変化したのは、私の住んでいる御坊市で、高校生までの医療費が無料になったときです。隣町はもうすでに無料になっていて、住人がここ最近増えているという話を聞くほどです。私はあまり病院にお世話になることはないのですが、姉は完全に病院通いだったので、姉も母もとてもよるこんでいました。医療費が無料になるといことは、市がかわりに負担しているということになるため、私たちが日々納めている税金が使われていることになりました。私は税金を初めてとても身近で重要なものなんだと感じました。

国全体での収入や支出のグラフを見ても、少し大きすぎてイメージがわかなかった私ですが、医療費無料化の一件もあり、御坊市だけの収入や支出を見たらおもしろいのではないかと思います。初めて調

べてみたり聞いたりするとう機
会が増えました。「御坊市は税金が
ないんだよ」「御坊市高齢者多いよ
な」という話はよく聞きますが、本
当に高齢者のためにかかる税が多
い割合を占めているのかなども調
べてみたいと思いはじめました。そ
うしているうちに、いつのまにか
税に関心を持つていました。それ
で「税の本質」というものが見えて
きた気がします。少し前までは「痛
い出費」としか考えていなかった税
金でしたが、税金は私たちの生活
に深くかわり、支えている、と
ても重要なものであることに気づ
きました。税は本来そのためにあ
るものです。そして私たちは、自
分たちが納めた税がどのようにし
て使われているかをしっかりと見
る必要があると思います。そのた
めには、以前の私のような「無関
心」を変える必要があると思いまし
た。これからも消費税が10%に上
がるかもしれないし、ニュースな
どもで税について考える機会がた
くさんあると思います。そんな機
会を大事にしていこうと思いまし
た。



平成29年度「税に関する中学生の標語」優秀作品

日高地方租税教育推進協議会は、税を考える週間(11月11日から17日)の一環として、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。

審査の結果、御坊市内から右記の皆さんが優秀作品に選ばれました。

税を知り 今後の日本 考える

湯川中学校 2年

なかの 中野 貴太さん

税は糸 紡ぐ心は 優しさへ

河南中学校 3年

おおまた 大又 未侑さん

未来ある 日本の為に 生きる税

名田中学校 2年

なかつゆ 中露 幸穂さん